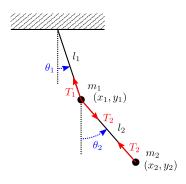
氏名

学籍番号

問 1. 右図のような 2 重振り子を考える.上にある質点を質点 1 , 下にある質点を質点 2 と呼ぶ.重力加速度を g とする.以下の問に答えよ.

- 1. 右図に示すように張力  $T_1, T_2$  が作用している.質点 1 , 質点 2 における y 方向の運動方程式を書け.
- 2. 質点 1, 質点 2 における x 方向の運動方程式を書け.
- $3.~\theta_1,\theta_2\ll 1$  と仮定する  $.~\theta\ll 1$  のとき, $\cos \theta\sim 1$  となることを利用して $T_1,T_2$  を  $m_1,m_2,g$  を用いて表せ.
- $4. \sin heta_1 = rac{x_1}{l_1}, \sin heta_2 = rac{x_2-x_1}{l_2}$  である.質点 1 , 質点 2 における x 方向の運動方程式を行列とベクトルを用いて表わせ.(  $M\ddot{x}+Kx=0$  の形で表わせ.) 使って良い変数は  $x_1,x_2,m_1,m_2,l_1,l_2,g$  とする.
- $5.~l_1=2l,l_2=3l,m_1=2m,m_2=m$  とする. $x_1=A\cos{(\omega t+\delta)},~x_2=B\cos{(\omega t+\delta)}$ と仮定して,解の規準振動数を求めよ.
- 6. それぞれの規準振動を図示せよ.



## 解答

1.

$$m_1 \ddot{y}_1 = -T_1 \cos \theta_1 + T_2 \cos \theta_2 + m_1 g \tag{1}$$

$$m_2\ddot{y}_2 = -T_2\cos\theta_2 + m_2g \tag{2}$$

2.

$$\underline{m_1 \ddot{x}_1 = -T_1 \sin \theta_1 + T_2 \sin \theta_2} \tag{3}$$

$$m_2 \ddot{x}_2 = -T_2 \sin \theta_2 \tag{4}$$

3.  $y_1=l_1\cos\theta_1,\ y_2=l_1\cos\theta_1+l_2\cos\theta_2$  である .  $\cos heta\sim 1$  を用いるとこれらの 2 階微分は 0 になる . つまり , 式 (1),(2) より ,

$$0 = -T_1 + T_2 + m_1 g (5)$$

$$0 = -T_2 + m_2 g (6)$$

となる.これより,次式を得る.

$$T_2 = m_2 g \tag{7}$$

$$T_1 = \overline{T_2 + m_1 g} = (m_1 + m_2) g$$
 (8)

 $x_1 = A\cos(\omega t + \delta), x_2 = B\cos(\omega t + \delta)$  と仮定して,

$$4.$$
 式  $(3), (4)$  に  $\sin \theta_1 = \frac{x_1}{l_1}, \sin \theta_2 = \frac{x_2 - x_1}{l_2}$  を代入する

$$m_1\ddot{x}_1 = -(m_1 + m_2)g\frac{x_1}{l_1} + m_2g\frac{x_2 - x_1}{l_2}$$
 (9)

$$m_2\ddot{x}_2 = -m_2 g \frac{x_2 - x_1}{l_2} \tag{10}$$

これをまとめると,

$$\begin{bmatrix} m_1 & 0 \\ 0 & m_2 \end{bmatrix} \overline{\begin{Bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{Bmatrix}} + \begin{bmatrix} \frac{(m_1 + m_2)g}{l_1} + \frac{m_2g}{l_2} & -\frac{m_2g}{l_2} \\ -\frac{m_2g}{l_2} & \frac{m_2g}{l_2} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} 0 \\ 0 \end{Bmatrix}$$
(11)

となる.

1

$$5. \quad l_1=2l, l_2=3l, m_1=2m, m_2=m$$
 を式  $(3), (4)$  に 代入する .

$$\begin{bmatrix} 2 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \overline{\begin{Bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{Bmatrix}} + \begin{bmatrix} \frac{11g}{6l} & -\frac{g}{3l} \\ -\frac{g}{2l} & \frac{g}{2l} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} x_1 \\ x_2 \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} 0 \\ 0 \end{Bmatrix} \quad (12)$$

$$-\omega^2 \begin{bmatrix} 2 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix} + \begin{bmatrix} \frac{11g}{6l} & -\frac{g}{3l} \\ -\frac{g}{3l} & \frac{g}{3l} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} 0 \\ 0 \end{Bmatrix}$$
(13)

となる.これをまとめると,

$$\begin{bmatrix} \frac{11g}{6l} - \omega^2 & -\frac{g}{3l} \\ -\frac{g}{3l} & \frac{g}{3l} - \omega^2 \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix} = \begin{Bmatrix} 0 \\ 0 \end{Bmatrix}$$
 (14)

を得る A,B が非自明な解 $^{*1}$ を持つためには , 式 (14) の行列の行列式が 0 でなければならな $N^{*2}$ よって , 以下の特性方程式を解けば良い .

$$\left(\frac{11g}{6l} - 2\omega^2\right) \left(\frac{g}{3l} - \omega^2\right) \tag{15}$$

まとめると以下のようになる.

$$-\frac{g}{3l}\frac{g}{3l} = 0\tag{16}$$

$$(\omega^2)^2 - \frac{5}{4}\omega^2 + \frac{1}{4} = 0 \tag{17}$$

二次方程式を解くと,次の解を得る.

$$\omega^2 = \frac{g}{l}, \quad \frac{g}{4l} \tag{18}$$

角振動数は正の値を取るので,

$$\omega = \sqrt{\frac{g}{l}}, \quad \frac{1}{2}\sqrt{\frac{g}{l}} \tag{19}$$

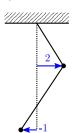
となる.

$$6. \quad \omega = \sqrt{rac{g}{l}} \; \mathfrak{O}$$
උපී ,

$$\begin{bmatrix} -\frac{g}{6l} & -\frac{g}{3l} \\ -\frac{g}{3l} & -\frac{2g}{3l} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix} = 0 \tag{20}$$

よって,

図示すると,以下のようになる.



また , 
$$\omega = \frac{1}{2} \sqrt{\frac{g}{l}}$$
 のとき

$$\begin{bmatrix} \frac{4g}{3l} & -\frac{g}{3l} \\ -\frac{g}{2l} & \frac{g}{12l} \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix} = 0$$
 (23)

(22)

よって,

図示すると,以下のようになる.



 $<sup>^{*1}</sup>$  A=B=0 ではない解

 $<sup>^{*2}</sup>$  行列式が非零だと,この行列が逆行列が持つことになり,A=B=0 となる.